

令和4年度 第2回学術研修会 開催のお知らせ

平素より本会学術事業にご理解、ご協力頂き、誠にありがとうございます。

標記について、下記の要領にて開催致します。

ご多忙とは存じますが、ご出席頂けますようお願い致します。

記

日 時 : 令和4年7月20日(水) 午後8時

場 所 : 板橋区歯科医師会館 3階 大会議室

演 題 : 「近年のCAD/CAM修復を成功に導く勘所

- CAD/CAM冠からCAD/CAMインレーまで -」

講 師 : 日本歯科大学生命歯学部

接着歯科学講座 講師 前野 雅彦 先生

※ 新型コロナウイルスの影響により、急遽中止になる場合があります。ご了承ください。

※日本歯科医師会会員の先生は、出席時は、日歯生涯研修事業 IC カードをご持参ください。

※板橋区歯科医師会非会員の先生は、資料代として5,000円を頂戴いたします。

【抄 録】

1980年代に誕生した歯科用CAD/CAMは、当初は一部の好事家達が使用する“マニアック”な技術に過ぎませんでした。しかし、コンピュータの技術革新や、新たな修復材料の誕生によって、現在は歯冠修復において欠かすことのできないテクノロジーとなっています。世界的には主にジルコニアをはじめとするセラミックや鋳造が困難な金属合金に対して用いら

れる CAD/CAM ですが、本邦においては 2014 年に「CAD/CAM 冠」として切削加工用ブロックから削り出されるコンポジットレジンクラウンが保険収載されたことを契機として、一般歯科臨床に広く応用されるようになりました。しかし、2014 年から数年間は、臨床応用に際してのガイドラインの普及に先立って臨床応用が進んでしまったこともあり、脱離などの不良予後が多く、「CAD/CAM 冠は落ちる」との印象をお持ちの先生方も多いかと思われまます。また、2022 年には「CAD/CAM インレー」が保険収載されました。臨床における有用な選択肢ではありますが、「金属インレーと同じ処置手順で技工指示だけを入れ換える」という対応では CAD/CAM 冠黎明期の再来になりかねません。今回は、臨床における CAD/CAM 冠／インレー修復を成功に導くための勘所について、エビデンスに基づく対応や実際の臨床操作のポイントをお話ししたいと思います。

【講師略歴】

日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座 講師 前野 雅彦 先生

2009 年 3 月 日本歯科大学生命歯学部 卒業

2014 年 3 月 日本歯科大学大学院生命歯学研究科博士課程 修了

2014 年 4 月 日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座 助教

2015 年 7 月 Department of Restorative Dentistry and Biomaterials Sciences,
Harvard School of Dental Medicine, Visiting Assistant Professor

2020 年 4 月 日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座 講師

現在に至る